

## 《たけ》のこと パートⅡ

NPO 法人 もりふれ倶楽部 理事長 野々村俊成

ある年の初夏のころ、居住する小学校区の交流センター(公民館)から便りをいただいた。

内容は、当該小学校の校長先生から、一年生の授業に「むかしのあそびをおそわろう」という単元があり、ついにはその遊び(方)を実地で教えて(遊んで)いただきたい。と依頼があったので、協力してほしいというものであった。



(写真はスーパー竹とんぼ)

日時と場所、そして懐かしい昔の遊びの数々が列記されており、当日の参加の有無及び、遊びのリストから、各人が担当しても良い遊びを第二希望まで申告してほしい、というのである。

記載されていた昔のあそびのリストには、竹馬、竹とんぼ、めんこ、コマ回し、お手玉、あや取り、折り紙、けん玉等、まだあったかもしれないが、まあなんとも懐かしい遊びの数々が記されていたのである。

小学生のころに上手であったか、上手くはなかったかは別として、一通りやったことのあるものばかりだが、さて、自分はどの遊びにエントリーしようか、などと迷っているうちに、そこはもう6、70年ほど前にタイムスリップ。小学生のころの教室、校庭のクスノキ、玄関脇の二宮金次郎の銅像、はたまた懐かしい友達や、先生の顔まで久々にそして次々に思い出すこととなったのである、もちろん動画のカラーでだ。

さて、昔遊びのエントリーを何にするか、であるが、どれもとても懐かしい遊びではあるものの、取り立てて得意だったと言えるものはない。自然に覚え、普通に遊んだだけ、そして、当時も見ていたことの方が多いお手玉、あや取り、折り紙は折り鶴ぐらいしかできない、従ってそれ以外の遊びであればどこでもいいですよ、と返事をしたのである。

自信があるからではなく、手薄なところがあればどこでも補助できますよ、との心遣いをしたつもりだったからである。

「むかしのあそびをおそわろう」の授業当日、館長の要請で集まった昔の人達いや、昔遊びの達人男女20数名満面の笑みで、身振り手振りの所作を交え往時の活躍ぶりを話す人、「肩が上がりゃんわー」「練習しておけばよかったねー」など。そして幾分緊張気味の達人も、間もなくの児童たちとの対面を楽しみにされていたのだった。

私の担当は「たけ馬」になっていた。最近では既製品のたけ馬があるのだ、高さも自由に換えられ、棒の部分も鉄パイプで、カラーコーティングしてある。足を乗せるところはプラスチックで平らであり、見たところとても頑丈にできている、そうでないと学校では使ってもらえないからだ。

ただ、このたけ馬、1年生には、少し早いのか人気も今ひとつだったようで、翌年にはメニューから外されていた。

それにしても、私が担当した2回(2年)のたけ馬体験授業、足の指が痛い痛いと言いながら、何度も何度も果敢にチャレンジし、「うまく乗れない…」と涙したり、5歩ほど歩いて「やったー！」なんともかわいらしい児童たちであった。

私が参加しだしてから3年(回)目、竹とんぼを担当されていた年配のKさんは、毎回とてもよく飛ぶ竹とんぼを自作されていて、それを持ち込んで、優しく飛ばし方を指導されていたのである。校舎と校舎の間の芝生広場の一角で、私たちは竹馬教室を開き、少し離れて竹とんぼ教室が開かれていた。なにせKさんの竹とんぼはよく飛ぶ、そのことを前回と前々回、同じ庭で見ていたのだ。

そのKさん、この年は姿が見えなかった、聞え来る話では、高齢を理由に辞退されたようであった。したがって、竹とんぼを担当する者が手薄になったのか、丁度たけ馬の体験がなくなったこともあって、私にも竹とんぼを担当してくれ、ということになったのであろう。

児童たちは、あらかじめどのあそびを体験するか、の希望を2つまで決めていたようで、20分間の体験を2か所

まわり、それぞれが終わると「よくできました！」のハナマルシールを貼ってもらう。

そして、3か所目はフリー体験、先ほど2回の体験中にチラ見した遊びなのか、あらかじめ「2つまで」、と決められていたため、入れることができなかつた3番手の遊びの復活体験か、児童たちは目指す体験ブースに速足で散ったのです、校舎内では走らない。そして3か所目もハナマルシールはちゃんと用意してありました。

いまの時代とは比べることもないが、その頃の子供たちの遊びといえば、前述した遊びであり、まだ思い出せばビー玉(ラムネ)、くぎ立て、金輪(鍛冶屋さんで作ってもらう)、ぶちゴマ、おはじき、缶蹴り、なわとび、ゴム飛び、竹ぽっくり。季節によって、杉(玉)鉄砲、竜のひげ(ジーゴダマ)鉄砲、たこあげ等々。

列記してみれば、ほとんどは身近にあるもの、あるいは自然素材を加工した手作りであり、ある意味、作ることも遊びだったのだ、友達もみんな作っていた。

いろいろな素材に触り、いろいろな道具を使い、教えてもらい、あるいは似て工夫する。数知れない失敗とそして、完成した喜びがあった。

当時竹とんぼ作りに使った道具は、折りたたみのナイフ(〇〇の守)、キリ、のこぎりぐらいであり、今振り返れば、とてもよく飛んだ、とは言えない代物であった。

余談だが数年前、あのころポケットに入っていた折りたたみナイフ、近くのホームセンターで見つけて購入した、当時は無かつたように思うが、握り(さや)の部分が赤銅色のナイフ、少年の頃を懐かしく思い出したのである。(念のため、本来は鉛筆を削るため、セルロイド製の筆箱に入れておかなければいけなかつたものだが…)

大事にとしまい込んだが、さてどこにあるやら…。千円以上もしたのに…。

なお、その後の昔かしあそびの担当が、竹とんぼであることはうれしい限りで、Kさんには及ばないが、ネットで調べたりしながら、より高く、より長く(滞空時間)、より遠くまで、をめざし、時々少年の心に戻り作成している。もちろん、今は電動の便利な工具もフルに使ってだが。

図は何れも竹の特徴を生かし、素材として使ったものです、



(ゆらりとんぼ・バランストンボとも)

やじろへびー(前後にゆれ 咬むよ!と)

懐かしい竹あそびのおもちゃを再現してみた「竹かえし」 どうやら江戸時代から続く遊びで、70年ほど前のことになるが、小学校で女子たちが遊んでいた。

また、家で祖母が冬場、炬燵にあたりながら遊び方をいく度か教えてくれたことを思い出した。

暖かい炬燵布団の上で、乾いた竹が打ち合い、擦れ合う音がチャカチャカと…。



(竹返しの竹)



(竹返して遊ぶ様子)

皮のついた竹の平板 10 本、長さ 20 センチぐらい、幅 1.5~2 センチ、厚さ 2~3 ミリぐらいで、内側の端に一から十までの漢数字を書いたものだ。幼年の頃に、この遊びを何と呼び、竹の名前をどう呼んでいたのか、だが。名前と遊び方は何年か前にインターネットで見かけて知ることとなり、さっそく何かに使えるか、と油抜きしてストックしてあったマダケで何組か作ってみた。あそびの呼び名は、「竹返し(たけかえし)」地域によって「竹ジャンメ」ともいうようで、遊び方もいろいろある。ネットで調べたら、なんとわらべ歌まであることがわかった。

近年のデジタル機器、AI を駆使した遊びは、いったいどこまで行きつくのやら。飽きがこなくてのめり込みやすいといわれる、心身に悪影響を及ぼす恐れから、使用時間制限までしなければならなくなってきたようだ。思うに、前述したような昔遊び、時間制限されたことはない。いや、暗くなるまで遊びに夢中で、帰りが遅いと叱られたことは数え切れないほどある。そして、一緒に遊んだ友達もきつと叱られたはずだ。さらに思えば、素朴で単純な遊びが多かった、だからすぐに飽きが来る。でも大丈夫、当時の子供たちは、つぎつぎと遊びを流行らせたのです。

新型コロナウイルスのいまだに衰えない蔓延状況、感染リスクへの対処など、油断できない状況が続いておりますが、一日も早く従来の平穏が戻り、社会、経済活動が活性化されることを願ってやみません。

出典:ウイキペディア



出雲西高でバランストンボの作成指導する著者

# 令和3年度 もいふれ倶楽部の歩み

## 12月16日（木）緑の少年団出前講座48（真砂小学校）

益田市立真砂小学校生徒3年生以上7名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話」と「飾り炭」の指導を行いました。



## 12月17日（金）緑の少年団出前講座49（柿木小学校）

吉賀町立柿木小学校生徒1年生14名と2、3、4年生19名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全のお話」と「木切れ工作」の指導を行いました。



## 12月18日（土）まつえ市民大学対応

まつえ市民大学受講生に対して「草木染」の指導を行いました。午前12名午後15名の参加者にそれぞれビワの葉、ヤマモモの葉の染液と媒染を使い、バンダナに染めてもらいました。



## 12月20日（月）松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校3年生6名に対して「森林整備の大切さ」の講義と「チェーンソーでの丸太切り体験」の指導をしました。チェーンソーのエンジンのかけ方などの説明後、実際に丸太を切ってもらい、丸太を伐る際の立ち位置やチェーンソーの扱い方の指導をしました。



## 1月9日（日）第9回里山自然塾

島根県主催の第9回里山自然塾「コロナ終息の年へ、春の七草と餅つき～里山の正月」を参加者20名で実施しました。講師の佐藤仁志氏から七草についての話を聞き、公園内で七草を探しました。また正月飾りの由来の話も聞き、昼には七草の入った玄米のおかゆを食べました。午後からは臼と杵を使って餅つきをしました。

## 1月15日（土）第10回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第10回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。

## 1月17日（月）緑の少年団出前講座50（出雲郷小学校）

松江市立出雲郷小学校特別支援学級17名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「木切れ工作」の指導を行いました。



## 2月1日（火）松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校2年生16名に対して「島根の森林、林業、雑木林と人の関係」、「森の名手・名人響繁則氏のシイタケ栽培」の講義を行いました。

## 2月9日（水）松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校2年生16名に対して「シイタケ植菌体験」と「シイタケ原木伏せ込み体験」の指導を行いました。



## 2月23日（祝・水）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校インターアクトクラブ1年生9名に対して「炭・キノコ生産 雑木林と人との関りを学ぶ」の指導を行いました。

### 2月23日（祝・水）第11回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第11回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。

### 2月26日（土）第10回、第8回里山生活塾

令和3年度島根県緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」の第10回「生地から作り熾火で焼き上げる本格バームクーヘン」を午前に、第8回「小さな山林経営の成功例をお話します」を午後に開催しました。第8回は1月30日を変更して実施しました。



### 2月27日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座 「飾り炭を使った雪アート作りドラム缶ピザとおき火の焼いも」を県民の森木工室において、家族づれを中心に参加者10名で実施しました。コロナ禍の為、家族単位で人との間隔をとりのピザ作りを変更してどんぐりクッキーを作り焼き芋と一緒に持ち帰りとなりました



### 3月3日（木）緑の少年団出前講座51（旭小学校）

浜田市立旭小学校5年生31名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として「森林保全の大切さ」の話をしました。



### 3月5日（土）第10回里山自然塾

島根県主催の第10回里山自然塾「どんぐりで遊ぼう！どんぐりを食べよう！」を参加者20名で実施しました。様々な種類のどんぐりを使って作品を作り、その後どんぐりの種類の見分け方、食べる動物はだれか、どんぐりになる木の需要がなくなるとどうなるのか、などのお話をしました。マテバシイを潰して作った粉を入れたクッキーを焼く準備と焼き芋の準備をしてもらい、どちらも焼きあがるまで、どんぐりを使った遊び（竹を使ったどんぐり転がし、迷路遊びなど）を指導しました。どんぐりクッキーや焼き芋は持ち帰りとなりました。

### 3月6日（日）第11回里山自然塾

島根県主催の第11回里山自然塾「里山スローライフを楽しむ～竹のアウトドアランチ～」を参加者20名で実施しました。間伐材の木切れや木の実を使って作品を作った後、竹筒のお釜に洗いコメと炊き込み用の食材をいれ、熾火でご飯を炊き、竹を鉋で箸の幅に割って、切り出しナイフを使い、竹から箸を作りました。



### 3月8日（火）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校環境福祉コース2年生30名に森の環境講座として「林業後継者の確保について」「SDGsと森林について」の講義と体験学習として「紙漉き」の指導をしました。

### 3月10日（火木）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校環境福祉コース2年生30名に森の環境講座として「林業後継者の森林資源の有効活用について」の講義と体験学習として「飾り炭」の指導をしました。



### 3月11日（金）くにびき学園対応

ふるさと森林公園へ来園されたくくにびき学園受講生16名に対して、「紙漉き体験」と「ネイチャーゲー

ム」の指導を行いました。

### 3月12日(土)～13日(日) 島根県森林インストラクター養成講座

(一社)島根県森林協会主催の「島根県森林インストラクター養成講座」の企画運営をサポートさせていただきました。

### 3月19日(土) 第12回ふるさと森林公園自然観察会

ふるさと森林公園において、第12回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。

### 3月19日(土)～20日(日) 第11回里山生活塾



島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」の第11回「仕込みから学ぶ燻製教室」を実施しました。燻製の仕込みとして、予め塩漬けにしておいた肉の塩抜きや、ゆで卵の下処理、秋刀魚やするめいかの下処理をしました。簡易な燻製作りとして段ボール箱によるチーズの燻製やフライパンでの燻製をしました。仕込み用のソミュール液やピクル液の作り方や塩漬け方法、塩抜き、乾燥、熟成など一連の燻製について話し、燻製の温度管理をしながら昨日から仕込んでおいた材料で燻製をつくりました。

### 3月21日(祝・月) 第3回里山生活塾 現地編

現地編 第3回里山生活塾「山菜教室」を日程と内容を変更して開催しました。吉野山地で講師の指導により採取方法や注意点を聞いてから、山菜を採取しました。ヨモギ、スイバ、タネツケバナ、フキノトウ等が採取できました。吉野山地で山菜を採取後、波多交流センターへ移動し採取した山菜をおひたしや天ぷらにして、筍の炊込みご飯や山菜の吸い物と一緒に試食しました。



### 3月26日(土) 第7回、第9回里山生活塾

島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」の第7回「薪を利用して熾火料理を極める」を午前中に、第9回「生地から作り熾火で焼き上げる里山パン作り」を午後で開催しました。



## もいふれ倶楽部今後の予定2022 4月～8月

4月16日(土) 10時～15時 第1回里山生活塾～吉野編「野草と山菜・薪作り」

☆参加者募集中：参加費1,000円(昼食付) 定員10名(申し込み順)

集合：雲南市波多交流センター 9時45分

4月24日(日) 10時～15時 第1回里山生活塾～ふるさと森林公園編「筍を楽しむ」

☆参加者募集中(但しキャンセル待ち受付)：参加費1,000円(昼食付) 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

定員15名(申し込み順)

4月30日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：来島小「冒険の森」山頂整備

9時50分 飯南町立来島小学校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・チェンソー・刈払い機・鉋・鋸・レーキ・フォーク等

前日正午まで申し込受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給します。場所のわからない方はご相談ください。

5月1日(日) 10時～15時 第1回 里山自然塾「山菜・野草を食べる」

☆参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

※山菜や野草はコロナ対策のためその場で食べるのではなく「山菜・野草セット」をお持ち帰りいただきます。

持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

5月5日(祝・木) 13時～14時45分 雲南市チェリバホール3階大会議室

福井修二氏講演会「森林と昆虫」・もりふれ倶楽部通常総会

5月15日(日) 10時～15時

県民の森ふれあい講座「竹筒の炊き込みご飯、木の皮で和紙作り」

☆4月15日より参加者募集

参加費500円 場所：県民の森木工館

持ち物～雨天時は雨具・必要な方は虫よけ等 定員20名(申し込み順)

5月21日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

5月21日(土) 10時～15時 第2回里山生活塾～吉野編「自然の中でパンを焼き野草木茶を飲もう！」

☆参加者募集中：参加費1,000円(昼食付) 定員10名(申し込み順)

集合：雲南市波多交流センター 9時45分

5月28日(土)～29日(日) 自然観察指導員講習会 国立公園大山

※もりふれ倶楽部のイベントではないですが、情報としてお知らせいたします。

☆詳細やお申込み方法は、日本自然保護協会のHPをご確認ください。

5月29日(日) 10時～15時 第2回里山生活塾～ふるさと森林公園編「広葉樹伐倒から薪作りまで～熾火料理の昼食付」

☆参加者募集中(但し現在キャンセル待ち受付)：参加費1,000円(昼食付) 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内 定員15名(申し込み順)

6月11日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

6月12日(日) 10時～15時 第3回里山生活塾～ふるさと森林公園編「本格的な笹巻づくり」

☆4月12日より参加者募集：参加費500円(昼食無し) 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内 定員15名(申し込み順)

6月19日(日) 10時～15時 第2回 里山自然塾「循環型林業とバームクーヘン」

☆5月19日より参加者募集：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

6月25日(土) 10時～15時 第3回里山生活塾～吉野編「夏のキノコをいただく・磨き丸太を作ろう！」

☆4月25日より参加者募集：参加費1,000円(昼食付) 定員10名(申し込み順)

集合：雲南市波多交流センター 9時45分

6月26日(日) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：来島小「冒険の森」下刈  
9時50分 飯南町立来島小学校駐車場集合 ※この回は刈払い機が必須です

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給  
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ヘルメット・刈払い機（この回  
に限り刈払い機持参の方のみで実施します。）  
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所の  
わからない方はご相談ください。

7月2日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：出雲商業木育の森下刈り  
9時50分 出雲商業高校駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給  
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り  
機・鎌  
前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、交通費補助 2 千円を支給します。場所の  
わからない方はご相談ください。

7月3日(日) 10時～15時 第3回 里山自然塾「里山派、バンダナづくり」

☆6月3日より参加者募集：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内  
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

7月23日(土) 10時～15時 第4回里山生活塾～吉野編「竹と熾火のアウトドアーその1」

☆5月23日より参加者募集：参加費1,000円(昼食付) 定員10名(申し込み順)  
集合：雲南市波多交流センター 9時45分

7月30日(土) 10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：森林公園植樹地下刈り  
9時50分 ふるさと森林公園学習展示館集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給  
持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け・ある方はヘルメット・草刈り  
機・鎌  
前日正午まで申し込みお受けします。会員の方には、交通費補助千円を支給します。場所のわ  
からない方はご相談ください。

7月31日(日) 10時～15時 第4回里山生活塾～ふるさと森林公園編「生地から作るドラム缶ピザ作り」

☆5月31日より参加者募集：参加費1,000円(昼食付) 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内 定  
員15名(申し込み順)

8月7日(日) 10時～15時 第4回 里山自然塾「竹は友達～竹で楽しむ夏休み(竹皿と竹笛または竹の燈  
明作り)」

☆7月3日より参加者募集：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内  
持ち物～飲み物・昼食・雨天時は雨具 定員20名(申し込み順)

## もりふれ倶楽部会報 NO. 66

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール [morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>